

### 3 処理方法別典型7公害の直接処理件数

- 典型7公害の直接処理では、「発生源側に対する行政指導が中心」が66.0%、「原因の調査が中心」が21.7%

〈統計表第25表参照〉

典型7公害の直接処理件数(49,861件)を処理方法<sup>9</sup>別にみると、「発生源側に対する行政指導が中心」が32,931件(66.0%)と最も多く、次いで「原因の調査が中心」が10,827件(21.7%)、「申立人に対する説得が中心」が1,979件(4.0%)、「当事者間の話し合いが中心」が952件(1.9%)となっている(図21、表12)。

図21 処理方法別典型7公害の直接処理件数

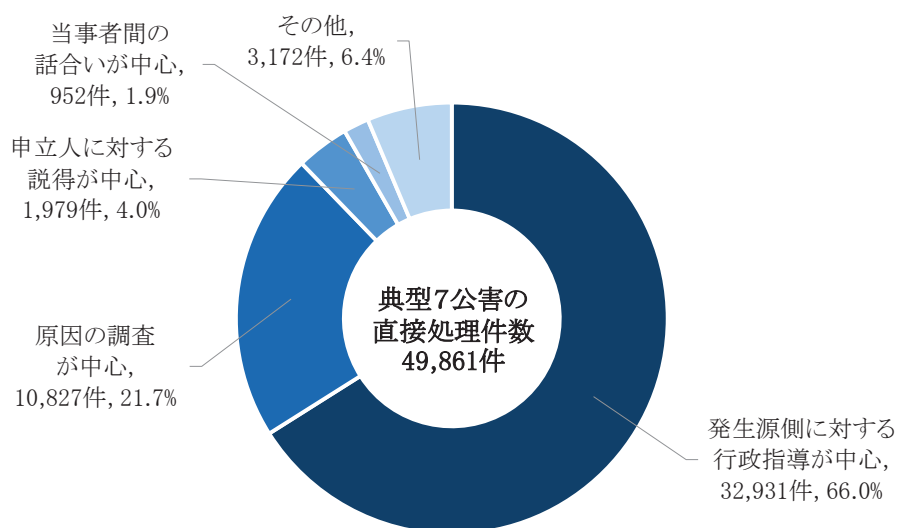


表12 処理方法別典型7公害の直接処理件数

		(単位: 件)					
公害の種類	合計	発生源側に対する行政指導が中心	当事者間の話し合いが中心	申立人に対する説得が中心	原因の調査が中心	その他	
直接処理件数	典型7公害	49,861	32,931	952	1,979	10,827	3,172
	大気汚染	15,412	11,853	101	340	2,339	779
	水質汚濁	4,731	1,878	33	90	2,329	401
	土壌汚染	172	82	6	11	37	36
	騒音	17,833	12,234	567	964	2,852	1,216
	低周波音	249	54	20	36	130	9
	振動	1,959	1,383	49	85	308	134
	地盤沈下	16	5	0	2	4	5
	悪臭	9,738	5,496	196	487	2,958	601
構成比(%)	典型7公害	100.0	66.0	1.9	4.0	21.7	6.4
	大気汚染	100.0	76.9	0.7	2.2	15.2	5.1
	水質汚濁	100.0	39.7	0.7	1.9	49.2	8.5
	土壌汚染	100.0	47.7	3.5	6.4	21.5	20.9
	騒音	100.0	68.6	3.2	5.4	16.0	6.8
	低周波音	100.0	21.7	8.0	14.5	52.2	3.6
	振動	100.0	70.6	2.5	4.3	15.7	6.8
	地盤沈下	100.0	31.3	0.0	12.5	25.0	31.3
	悪臭	100.0	56.4	2.0	5.0	30.4	6.2

9 処理方法の区分は、「発生源側に対する行政指導が中心」「当事者間の話し合いが中心」「申立人に対する説得が中心」「原因の調査が中心」及び「その他」の5種類